

# ドローン測量を試行

## 能越道小泉道路など現場で

南建設

## コマツ石川らと連携

南建設(石川県志賀町)はこのほど、国土交通省が推進する「アイコンストラクション」の情報化施工に対応するため、コマツ石川(金沢市)及びコマツレンタル中部営業部スマートコンストラクション推進室(名古屋市中区)と連携し、金沢河川国道事務所発注「H27能越道小泉道路その5工事」

「H27・28能越道 中道

路その4工事」でドローンによる写真測量を試験的に実施した。写真。従来、同規模の工事現場では測量作業に約1週間〜10日もかかっていたが、今回のドローン測量は準備も含めてほぼ1日半と大幅に短縮された。また、ドローンで取得した測量データは、コマツが構築したクラウドプラットフォームフォーム「KomC

onnect(コムコネクト)」を運営するスマートコンストラクション推進本部(東京)へ一括して送信され、わずか数日で3次元の現況地形図が作成された。3次元現

況地形と3次元設計図面の差分から、実際の施工量(切り土・盛り土量)が自動的に算出される。

南建設では、コマツのICT油圧ショベル「PC200i」を使用し、6月中旬をめどに施工を開始する予定だ。

PC200iは世界初

のインテリジェントマシンコントロール機能を搭載。通信衛星を活用したバケットの刃先位置情報と設計施工データを照合しながら、自動制御される。日々の進捗データはコムコネクトへ自動的に送信・蓄積され、ネット上で容易に確認できる。

